



■岡山医療センターの特別メニュー
先着15名の予約制ですが入院患者様に
調理師が自慢の腕をふるっています。
詳しくはホームページをご覧ください。

INFORMATION MAGAZINE THE JOURNAL

ザ★ジャーナル!!

National Hospital Organization Okayama Medical Center

Vol.7
No.3

やさしさ便り～岡山医療センターの今

CONTENTS

地域災害拠点病院
地域医療支援病院
地域がん診療連携拠点病院
総合周産期母子医療センター

岡山医療センターの理念

人にやさしい病院

-Human Friendly Hospital-

- 1 患者さまにやさしい病院を目指します
- 2 病院で働く人にやさしい病院を目指します
- 3 地域の人にやさしい病院を目指します

- 2 特集 臨床研究部紹介
- 4 センター NEWS
カウニッツ先生、熱く研修医を指導する!
- 5 赤ちゃんにやさしい病院認定20周年記念講演会
- 6 初期研修医通信/リレーマラソン入賞
- 7 地域医療連携室
- 8 健康レシピ
- 9 リソースナース室通信/医療安全レポート
- 10 ところが喜ぶログ/臨床研究推進室便り
- 11 看護助産学校通信
- 12 TOPICS!/編集後記

看護職員募集中

常勤・非常勤看護師 随時受付中
院内保育所完備・スキルアップラボ有り
詳しいお問い合わせはこちら▶▶▶

CONTENTS

12



携帯サイトを
開設しました!

表紙写真：特別メニュー
撮 影：近藤 博行

特集

臨床研究部紹介

病院の紹介といえば、患者さまへ医療を提供する各診療科や看護、薬剤あるいは各種検査部門などのことを思いうかべる方が多いのではないのでしょうか。

国立病院機構では、“診療”だけでなく“教育研修”と“臨床研究”にも力を注いでいます。患者さまにはなじみの薄いこれらの活動も、よりよい医療の提供のために必要不可欠なものです。当院では実際の診療データに基づく研究を大学や他の病院と連携して行っています。今回は当院職員の研究をサポートする臨床研究部の活動の一端をご紹介しますと思います。(編集部)

臨床研究部医師 小川 愛子

臨床研究部長(循環器科) 松原 広己

1. 臨床研究部の構成

当院の臨床研究部には以下の5室があり、各室それぞれに活動を行っています。

臨床研究推進室	松原 広己	室長(循環器科)
成育医療推進研究室	久保 俊英	室長(小児科)
先進医療研究室	真邊 泰宏	室長(神経内科)
低侵襲医療研究室	後藤 隆文	室長(小児外科)
病態・診断共同研究室	中村 信	室長(新生児科)

2. 現在の活動状況

今回は、最近新たに整備・稼動した臨床研究推進室と病態・診断共同研究室についてご報告いたします。

1) 臨床研究推進室(図1)

臨床研究推進室の活動としては治験管理室の活動が最もよく知られているところかもしれませんが。実際の治験に関連した日々の活動以外にも、毎月1回行われる倫理委員会では治験と臨床研究の審査を行っています。また、臨床研究を行うメディカルスタッフ全員に受講が義務づけられている臨床研究セミナーも行っています。

これに加えて、今年度から新たに本館3階旧治験管理室を臨床研究推進室として新たに開設し、下記の機材・設備等を整備し、臨床研究のサポートを開始しました。

「臨床研究推進室便り」(P10)もご覧ください



・統計処理用パソコン



図1

統計ソフトSPSS Statisticsを搭載したパソコンが4台あります。

うち3台はAdobe Creative Suite 6 Design Standardも搭載しており、画像編集も可能です。

・ポスター出力

データが完成して出力するだけという状態になっているのが条件ですが、ポスターの印刷を推進室で承ります。光沢紙、クロス、A4~B0(ポスター)サイズまでの印刷を行います。2日前までにデータをUSBで提出してください。

受付時間
9:00~15:00
(土日祝日を除く)

申込受付
臨床研究部クラーク

パンフレットやポスターのデザイン等の担当はこれまで通りです。

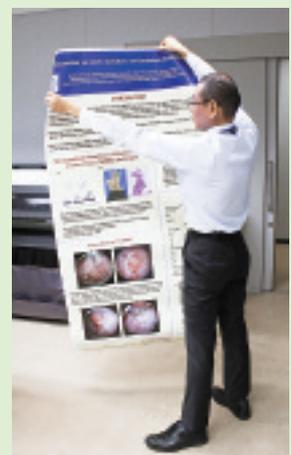


図1

・学会予行スペース



図1

8～10名着席可能なスペースも室内にあります。50インチのモニターとパソコンが常設されています。使用をご希望の方は臨床研究推進室にお申し込みください。

・論文の英文校正費用について

英文論文投稿にあたり、校正が必要になることがあります。これにも費用がかかります。今年度より新たに、学位論文以外の論文執筆・投稿用の校正費用は臨床研究部で負担致します。

2) 病態・診断共同研究室(図2)

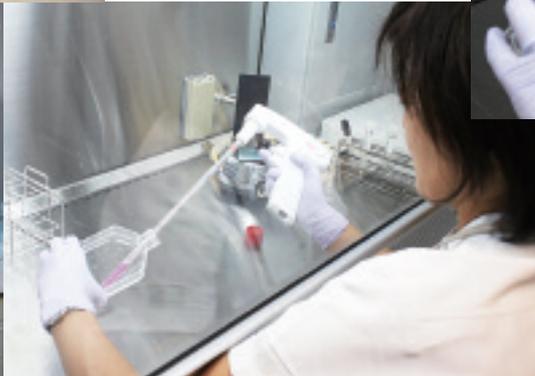


図2 実験室の各種機材

本館3階、臨床研究推進室の近くには実験室が4室あり、機材も拡充を図っています。現在、ELISA、PCR、Western blot、組織や細胞の染色(蛍光を含む)等の基本的な実験は可能です。他に、細胞培養や細胞内カルシウム測定もできます。

現在、当院職員であり、通常勤務を行いながら岡山大学の大学院生として研究活動を開始した室員への研究協力も行っています。医師に限らず、研究活動を行う意欲のある方であれば職種を問わず使用可能です。実験室使用を希望される方はまず臨床研究部の室員として登録が必要ですのでご連絡ください。

3. 今後の展開

今年度、当院は文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会の行う科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金/科学研究費補助金)(通称「科研費」)の施設番号を取得しました。これにより、これまでの厚生労働省の科学研究費に加えて、文部科学省の科学研究費にも応募が可能となります。新規に当施設から研究者番号を取得することも可能です。

これまでに他施設で研究者IDを取得されている方は、矢田部経理係長まで「府省共通研究開発管理システム(e-Rad)所属研究機関研究者ログイン情報通知書」を提出いただければ、当院の研究者として再登録いたします。科研費への積極的な応募をお願いします。

4. おわりに

当院は全国の国立病院機構の中でも、例年臨床研究ポイントで上位15位に入る研究活動を行っています。臨床研究部は、新たに整備した設備等を活用し、これまで以上に活発な研究を展開できるようサポートしていきます。



センターNEWS

OKAYAMA MEDICAL CENTER



教育研修部 研修だより

カウニッツ先生、熱く研修医を指導する! ～米国臨床指導医招聘プログラム in NHO岡山～



去る10月17日、米国カリフォルニア州退役軍人病院医療センター(VA West Los Angeles Medical Center)のカウニッツ先生 (Jonathan D Kaunitz MD FACG) が、NHOの招聘プログラムの一環として、研修医などの指導のため昨年に引き続き来院されました。同センターはNHOの海外留学プログラムの研修先です。

初期・後期研修医にとっては、疾患の診断と鑑別、診察などの指導を英語で受けられるという貴重な機会となりました。院内の関心も高く、参加者は研修医・スタッフの医師・病院幹部、医療通訳ボランティアの方など約40名に及びました。

会はすべて英語での進行です。東院長から開会のあいさつに引き続いて同センターの留学紹介を、留学された肥後寿夫医師(呼吸器科)とカウニッツ先生ご自身から頂きました。会場が徐々に熱を帯びてきたところで、一番核となる症例提示が行われました。発表者は初期研修医(永井康貴医師、岩本佳隆医師)、後期研修医(山下聡美医師(産婦人科)、森本栄作医師(総合診療科))で、自身が経験した症例を発表頂きました。座長の福原徹医師(脳神経外科)、秋山一郎医師(外科)に導かれわかりやすく、また深く理解できる発表となりました。随所でカウニッツ先生からの時にはとさせられるような、あるいは納得のコメントや質問を受けながらの進行でした。発表

後、カウニッツ先生の審査にて best presenter賞に山下医師が選出されました。

そのあと、診察指導に協力頂いた2名の入院患者さまの診察を病室にて行いました。担当研修医〔中嶋崇文医師(初期)、後藤瑠衣子医師(腎臓内科)]からの症例提示とその後指導を受けました。

以上、みっちり4時間以上にわたる講演と指導の時間でしたが、研修医は真剣に、そして楽しく和やかな雰囲気の間を過ごすことができました。このようなまたない機会を頂きカウニッツ先生に感謝いたします!!

<研修医の感想>

山下聡美医師：今回は、発表の機会を得ることができて大変勉強になりました。またこのような機会はとても良い刺激となりました。



症例発表



病棟での診察指導

赤ちゃんにやさしい病院認定 20周年記念講演会

■6A病棟看護師長 有道 順子

BFH (赤ちゃんにやさしい病院) とは、WHO ユニセフの「母乳育児成功のための10か条」と「母乳代用品のマーケティングに関する国際規準」を遵守し、責任を持って母乳育児を支援している病院のことです。当院はこのことを20年間実施、継続できている病院です。時代、世代が移り変わってもしっかりした基盤はぶれることなく実施継続できています。

1970年頃ミルク全盛期の時代に重症下痢の乳児に母乳を与えると、回復したケースに遭遇したことがきっかけで、ミルクをやめる方向へと向かいました。当時は母子別室でしたから、3時間毎の新生児室での授乳はミルクを母乳に置き換えただけの状況でした。赤ちゃんがおっぱいを飲みたい時に母はいない、乳汁分泌が盛んになった時に飲む赤ちゃんがない。これは母子のリズムを全く無視したもので、母親の育児行動の変化などが動物行動学分野で研究され、出産直後の母子を離してはならないということが明らかにされました。出産直後の母子同室から学んだことは、お母さんの母乳分泌がよくなること、お母さんがわが子を自然に受け入れていき、どんどん変わっていくこと、助産師達は、母と子の細やかな変化を見ていかなければならないし、母性を引き出すのは母乳であることに目を開き始めました。「母乳を飲ませること＝母乳栄養」ではない、母と子の絆を深めることであることを実感しました。お母さんと赤ちゃんが一緒にいられる環境・支援体制が広がっていきました。母子分離となった状況でもNICUにいつでも面会できる体制や、退院後の2週間検診、訪問看護など多くの母子支援を行っています。

平成24年11月10日(土) BFH (赤ちゃんにやさしい病院) 認定20周年記念講演会が開催されました。多くの職種から120名の参加がありました。天候にも恵まれ、



山内 芳忠 先生

平林 国彦 先生

一般参加者の中には子どもづれの参加も多く、子どもたちの声を感じながら講演会がスタートできたことを心より嬉しく思いました。来賓の岡山県保健福祉部医療推進課長の二宮忠矢先生は、岡山県乳児死亡率が急激に減少した経緯について山内逸郎先生の功績をたたえられました。日本母乳の会代表理事の山内芳忠先生には、BFH 認定20周年についてご挨拶をいただきました。特別講演では国連児童基金(ユニセフ)東京事務所代表の平林国彦先生から、「世界と日本の子どもの現状と赤ちゃんにやさしい病院」のこれからと題してご講演をいただきました。母乳育児を通して子どもたちにやさしい環境が広がっていく願いをこめた講演でした。会の途中では癒しのミニコンサートがあり、ピアノ・クラリネットの演奏で「星に願いを」など3曲を披露されました。忙しい日々の中でやさしい音色は心が癒されました。

今年度、『母乳育児推進室』を立ち上げて初の大イベントでしたが、病院としてBFHの活動ができたことを何よりも心強く感じ、同時に他部門の皆様の御理解と御協力があったからこそ実施できたことを深く感謝しています。これからは、もっともっと地域にアピールし、地域と共に

BFH活動を行って行きたいと思っています。最後に、看護学生からの感想の中から、子どもはほんとうに可愛くて、小さい子どもをつれたお母さんがたくさんこられ、その風景を見たら暖かい気持ちになりました。そんな風景がたくさん見られ、幸せが広がるような思いになったひと時でした。私達も幸せの輪が広がっていくことを願っています。

国立岡山病院の母乳育児の変遷

- 1970年11月25日 産婦人科開院
- 1977年 4月 産科母乳科
- 1984年 4月 母子同室試行開始
- 1985年 2月 産科母乳科開設
- 1986年 2月 乳児センター開設
- 1988年12月 WHOのユニセフよりBFHに認定
- 1993年12月 産科室・新生児科の連携的母乳育児推進部
- 1996年 4月 分娩室と授乳センターを一体化
- 2011年 4月 母子同室開始、おっぱいセンターの開始
- 2020年 4月 産科母乳科母乳育児推進センターに認定
- 2021年 4月 産科母乳科母乳育児推進室
- 2022年 4月 産科母乳科母乳育児推進室
- 2023年 4月 産科母乳科母乳育児推進室

山内逸郎の 強力なリーダーシップ

信念と方針

- 何があっても母乳で赤ちゃんを育てよう
- 母子が出産直後から離れず一緒にいることが必要である

出産後の早期母子接触



初期研修医通信 秋の巻 ～経験の共有化～

■医師育成キャリア支援室 腎臓内科医長 太田 康介

「第7回初期臨床研修医 症例報告会」が11月3日に当院にて開かれました。この会は当院研修医が、それぞれが経験した興味をもたれる症例を学会形式で発表するものです。上級医の指導を受け十分な準備のもと臨みました。

発表は9セッション全28題、発表と質疑を8分で、当該分野の部長・医長による座長の元で進行しました。1題目から活発な質疑が展開されました。いずれの発表も興味深く示唆・教訓に富んだものでしたが、特に外科・小児科・神経内科の症例などが関心を引きました。最後

に東院長から「ベテランのような落ち着いた発表態度であった」と講評を頂きました。

なお今回の発表内容は症例報告として年報に掲載されます。



『国立病院』チーム リレーマラソン上位入賞

■初期研修医 梶田聡一郎
横山聖太、岡上昇太郎



9月30日、岡山カンコースタジアムにてトマト銀行、テレビせとうち、山陽新聞社共催6時間耐久リレーマラソンが開催されました。当院からも『国立病院』というチーム名のもと、医師、看護師を中心に男女それぞれ1チームが参加、台風の中完走し、以下の成績を残す事ができました。

女子チーム:優勝(女子の部)

男子チーム:第3位入賞(企業対抗200チーム中)

大会中のインタビューではスタンドを埋め尽くす大勢の前で看護師募集の宣伝をすることができました。看護師確保プロジェクトのメンバーとも相談し、当院をアピールすることができたと思います。

今回は病院の多くの方々に協力して頂き全員で完走出

来たことが、何よりの思い出となりました。みんなで何かをする事はいいなとあらためて思いました。今後もこういった職場以外での交流も大事にする事で、チームワークを高め少しでも病院を盛り上げていければと感じています。

今回のメンバーは来年当院を旅立つかもしれない研修医2年目を中心でしたが、来年も国立病院OB、OGとして岡山に戻り参加したいと思います。ぜひ来年は、院内の職種問わずより多くの方に参加して頂き、一緒にたくさん思い出を作れたら幸せに感じます。

『国立病院』チーム 一同

女子優勝チーム代表:大徳芳江、寺本未織 他

special thanks 中西先生



難波医院



院長 難波 晃

かかりつけ医として地域に根差した医院であり、お互い顔の見える診療をしたいと思っています。そのためには町内会をはじめとして地域との交流により相互の信頼感を高め、平素は気楽に何でも相談でき、いざという時には迅速な対応ができる施設でありたいと考えています。

専門は消化器科で胃癌検診の精密検査施設です。胃内視鏡を実施していますが、最近は糖尿病や認知症の診療にも力を入れています。



住 所:岡山市北区横井上222-1

電 話:086-294-3366

診療科目:内科、外科、皮膚科

休 診 日:日曜、祝日

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
15:30~19:00	○	○	○	—	○	—
15:30~18:00	—	—	—	—	—	○



13:00~15:30は往診を行っています。(往診できる地域は横井上地区) また、近隣の訪問看護ステーションとも連携しています。

ももたろう往診クリニック



院長 小森 栄作

当院は在宅医療に特化して、外来通院が困難な患者さまの自宅や施設へ定期的に訪問して診療を行っています。高齢のため歩けなくなってきた、骨折を機に寝たきり、胃ろうや気管切開がある、在宅酸素やインスリン自己注射が必要、褥創ができていて、といった自宅での診療や処置を必要とする方への定期的な訪問診療をはじめとして、神経難病や癌の末期の方などこれまで在宅療養は難しいと考えられていたような重症の方にも対応しています。

在宅療養中の急な容態変化の際に外来患者さまを待たせて往診に出ることは難しいため、あえて外来診療は行っていません。定期的に診療を行っている患者さまには、在宅で安心して療養できるように日中はもちろん夜間・休日も必ず連絡がつき、必要に応じて往診できる態勢をとっています。

在宅療養しながら病院の専門外来へ数ヶ月ごとに通院されているような場合でも、病院(岡山医療センター)の主治医・専門医の先生方と連携して訪問診療を行うことも可能です。状態が安定されているときには原則として月に2回程度、不安定なときは状態に応じて訪問回数を増やして対応し、訪問看護やリハビリ、ケアマネジャーなどの様々な職種在宅スタッフと連携しながら、かかりつけ医として医療面からの療養管理を行います。患者さん御家族が望まれるかぎり「住み慣れた環境での療養」という選択肢があるべきと考えて、少しでも良い状態で在宅療養できるようお手伝いすべく自宅や施設への医療サービスを提供しています。



住 所:岡山市南区西市101-4-2

電 話:086-242-3232

診療科目:内科、外科 (在宅医療全般)

診 療 日:定期訪問診療(月曜~金曜)

定期訪問のスケジュールは御家族と相談して計画します。

	月	火	水	木	金	土
9:00~17:00	○	○	○	○	○	—



訪問診療の地域:岡山市内(2号線青江交差点から20分程度の地域)



栄養管理室 PRESENTS!

栄養満点!ヘルシーメニュー

冬の味覚

「牡蠣」



「曙牡蠣」(あけぼのかき)

岡山県南の瀬戸内市の虫明産の「岡山かき」は、玉葉集の「虫明の迫門の曙見る折りぞ都のことも忘れにけり」平清盛にちなんで、「曙牡蠣」と呼ばれます。

【邑久町漁協ホームページより】

牡蠣の料理といえば、牡蠣フライや牡蠣の土手鍋などがポピュラーだと思えますが、変わり種「牡蠣の南蛮漬け」をご紹介します。



牡蠣の南蛮漬け

【材料】(2人分)

- 牡蠣 200g
- 片栗粉 適量
- サラダ油
- 玉葱 40g
- ピーマン 10g
- 赤ピーマン 10g
- 人参 10g

《南蛮酢》

- 酢 大さじ 3
- 砂糖 大さじ 3
- 薄口醤油 小さじ 1
- 塩 小さじ 1/3 (鷹の爪 少量)

【作り方】

- ① 牡蠣は流水で良く洗いザルにあげて水気を切り、ペーパータオル等で更に水気を拭き取ります。
 - ② 野菜をそれぞれ薄くスライスしておきます。
 - ③ 南蛮酢を合わせ、②の野菜を入れておきます。
 - ④ 牡蠣に片栗粉をまぶし、180℃に熱した油でカラリと揚げます。
 - ⑤ 揚げた牡蠣は、軽く油を切ったら、③の南蛮酢の中に入れて味をなじませます。
- ☆揚げたて熱々の牡蠣を生野菜の入った南蛮酢に漬けるとジュッと音がします。牡蠣の熱気で野菜がしんなりして味がまろやかにもなります。しっかり漬ければトロリとした食感、さっと味を馴染ませる程度にするとサクツとした食感が味わえます。鷹の爪はお好みで…



1人前
エネルギー:160Kcal
たんぱく質:7g
塩分:1g

牡蠣の栄養

「海のミルク」と言われる牡蠣は、アミノ酸の一種タウリンが多く含まれ、タウリンには血圧や血中のコレステロール値を下げる効果があり、高血圧や動脈硬化の防止に役立ちます。また、牡蠣の栄養成分でよく知られる鉄分は、女性に多い鉄欠乏性貧血の予防に効果があります。他にもカルシウム、銅、亜鉛などのミネラルも多く含みます。

牡蠣100g中…鉄分 3.6mg
カルシウム 55mg
亜鉛 13.2mg
銅 0.89mg

リソース ナース室 通信

Vol.13

研修会を開催しました!!

10月30日に、リソースナース室研修会を開催しました。テーマは、「新しい認定看護師の活動」で、今年度より新たに加わった感染管理認定看護師の津田ひとみ看護師長、集中ケア認定看護師の中原孝子看護師長、松尾智美小児救急看護認定看護師、石野陽子新生児集中ケア認定看護師によるミニレクチャーを行いました。小児、新生児、集中ケア領域以外の看護師の多数の参加があり、「また、勉強会を開催してほしい。」と好評をいただきました。看護ケアや勉強会の開催など気軽に声をかけていただければと思います。



皆さん。
こんなことをしてほしい!
というリクエストを
お待ちしております!



医療安全 レポート

—セーフティマネージャー会議より—



今年度は各部署で、指差呼称推進クルー（指差し声出し確認行動を推進する人）を任命し、**バッチ**をつけて各部署で**安全活動**を行っています。

今回は、実際の活動を行っているのか（放射線科）〈事務部〉の活動をご紹介します。



放射線科 —放射線科は安全な検査を目標とします— 〈リハビリ科による患者様介助の勉強会〉

放射線科では、介助を必要とする患者様を安全に移動し、安全に撮影台の上に寝ていただくため、リハビリテーション科に協力してもらい、患者様介助の講義及び実習を行いました。全介助か、部分介助かの評価、患者様の重心を利用した移動、人工股関節患者様の注意点等を学びました。

医 事 —ちょっと待て、先を急がず再確認—

当院は急性期病院であり、患者の受付業務、カルテの準備等において、的確かつスピーディーに行うことが強く求められています。このような日常業務の中で、ちょっとした不注意・確認不足などが、事務処理のミスの原因となります。些細なミスが患者様にご迷惑をおかけすることになり、病院の信頼喪失に繋がることを認識し、日頃よりリスク意識を高め、『ちょっと待て、先を急がず再確認』を心がけています。



Column

こころが 喜ぶログ

フリーアナウンサー
遠藤寛子



「間抜けな話」

今日は「間抜け」なお話です。…といっても、いわゆるマヌケ(考えや行動にぬかりがある)という意味のものではありません。

ニュースを伝える時、インタビューをする時、また人前で話をする時にも「間」が非常に大切であると感じています。

「間」とは、例えばお芝居や舞踏などの世界で言えば、音や動作が休止する時間のことで、話す上での「間」はすなわち「黙っている時間」のことです。「黙っている時間」の長短によって、話し方は単調ではなくなりテンポが生まれてきます。また、必要な「間」をとることで、話し手は呼吸をし、話す内容を整理します。一方の聞き手にとっても、「間」という音の休止時間で、それまで「耳」でキャッチし、ためこんできた情報を整理し理解することができます。「間」はコミュニケーションをはかる双方にとって必要なものと言えるでしょう。

それでも私たちはつい、その「間」を忘れて

しまいがちです。文章を読む時には息継ぎもそこそこに読み飛ばしてしまい、話を聞けば「わずかな沈黙の時間」でさえ怖くなり質問者が次々と言葉を重ねてしまう。また頭の中にある伝えたいことが多すぎて、聞く人の反応も考えず一気にまくらしたるように話すこともある。頭の中にある情報や朗読する文章は、話し手側にとっては、あらかじめ考えられたもの、あるいは見て知っていることであっても、それを耳にする聞き手側にとっては“その時に初めて聞くこと”かもしれません。それなのに、新たな情報がとっと押し寄せてきたら、“ついていくのがやっと”になり、そこに“味わう、考える”余裕など生まれないのではないのでしょうか。

ほんの少しだけいつもより「黙っている時間」をつくってみませんか。

…とはいえ、かく言う私も「無音状態」になるのがこわくて、「間抜けな話し方」になってしまふことがしばしばです…。

PROFILE 平成5年、山陽放送株式会社入社。在局中は夕方ローカルワイドニュース「山陽TVイブニングニュース」や県政・市政などのテレビ番組、スポーツ番組のリポートなどを担当。また、ラジオではお昼のワイド番組をはじめ、数多くの番組を手がける。平成12年に同社を退社後、フリーとして活動中。現在は、山陽放送テレビ・ラジオで朝の定時ニュース担当。またイベントや式典、ウエディングなど、様々なシーンでの司会進行でも活動が続ける他、マナー研修の講師も務める。

臨床研究 推進室便り



最近、治験に協力して頂いている患者様から『テレビで治験に関する番組を見たよ』などの声をよく聞きます。以前よりも「治験」という言葉が身近になっているようで、私たち治験コーディネーターも嬉しく思っています。

今年も残すところ、あと1ヶ月となりました。今年、治験に参加して頂いている患者様の数は、前年の同じ時期に比べ大幅に増えています。患者様自身の治療の傍ら、貴重なお時間を治験に費やして頂いていることに対し大変感謝しています。

現在、当院では治験受託件数も併せて増加傾向にあります。皆様方の協力があるからこそ、新薬の開発や新たな治療法が見出せるのです。

来年、2013年も皆様方に良いご縁があることを心よりお祈りしております。

★今回から『臨床研究推進室の一品』と題し、不定期でスタッフのお気に入り商品をジャンルを問わず紹介します。

臨床研究
推進室の
この一品



フルーツ盛りだくさん。『しろくま』アイスです。これは、我が臨床研究部長もお気に入り商品です。1F売店で購入可能。機会があれば是非ご賞味あれ。(カロリー制限ある方は、ほどほどに)

本年度は、75名の患者様に治験に参加して頂きました。(2012.10.17現在)

治験参加募集中:

- 脳梗塞を発症した方
- 鎮痛薬による便秘でお困りの方
- 糖尿病で手足等のしびれを感じる方
- 糖尿病で腎障害がある方

お問合せ先

臨床研究推進室086-294-9515

臨床研究推進室(治験管理室)
TEL:086-294-9519(平日のみ)
その他、当院実施中の治験参加に関する
問い合わせも受付しています

看護助産学校 通信 Vol.11

継灯式を終えて ～私の目指す看護師像～

看護学科1年 谷本 弥



先日、継灯式が行われました。私たちはひとりひとりナイチンゲールから灯火をいただき、ろうそくを灯しました。ろうそくは自らの体を燃やし、周りを明るく照らします。私は、そのろうそくの灯火を看護師の役割と照らし合わせて考えました。

看護学校に入学するまで、看護師の仕事といえば、注射や点滴など専門的な技術が多いと思っていましたが、看護をより深く学んでいく中で、患者様の日常生活行動の援助こそが大切な看護だと考えるようになりました。日常生活行動とは、人が代わって行うことのできない様々な営みであり、人間らしく生きていくために必要な行動であり、人としての尊厳を守ることだと思います。だからこそ、日常生活行動の援助なしに患者様の回復は難しいと思います。

そして、患者様はたくさんの不安を抱えて闘っていらっしゃいます。その不安を取り除いて治療に専念していただくためには、患者様と看護師の信頼関係はとても重要です。

私は、患者様の近くに寄り添って、ひとりひとりの個性を尊重し、その人らしい生活をするにはどうしたら良いのかを考え、治療に専念していける環境を患者様と共に創っていける看護師になりたいです。

どんなときも、患者様の心をそっと明るく照らして、支えになっていきたいです。



当校と一緒に看護師・助産師を目指しましょう!

* 入学試験のご案内

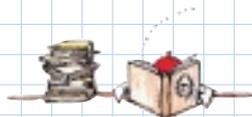
看護学科 <一般入試>

- 募集人員 入学定員(120名)の6割程度
- 出願期間 平成24年12月17日(月)～平成25年1月7日(月)(消印有効)
- 試験日 A日程:平成25年1月17日(木) B日程:平成25年1月24日(木)
A日程、B日程のいずれか一方を選択して下さい。
- 試験科目 国語総合(古文・漢文を除く)・現代文、英語Ⅰ・Ⅱ、数学Ⅰ
※全科目マークシート方式
面接



助産学科 <一般入試>

- 募集人員 入学定員(20名)の5割程度
- 出願期間 平成24年12月17日(月)～平成25年1月7日(月)(消印有効)
- 試験日 学科試験:平成25年1月17日(木) 面接:平成25年1月18日(金)
- 試験科目 英語、看護学(基礎看護学、母性看護学、小児看護学)、面接



入試に関する郵送・請求・お問い合わせ先

平成25年度2013学生募集要項 学校案内の請求方法

返信用封筒(角型2号A4サイズ)に請求される方の郵便番号、住所、氏名を明記し、210円切手を返信用封筒に貼付し、本校下記住所まで郵送にて請求して下さい。

〒701-1195 岡山県岡山市北区田益1711-1
独立行政法人国立病院機構
岡山医療センター附属岡山看護助産学校
電話 086-294-9292
E-Mail n-school@okayama3.hosp.go.jp
ホームページ <http://okayamamc.jp/gakko/>



地域医療
研修室

医療者のための セミナー・講演会 (12・1月)

会場: 当院西棟8階大研修室
時間: 19:30~20:30

日程	種 別	演 者
平成24年12月18日(火)	第6回 地域医療研修セミナー	みんな自分分からない(仮) 精神科医師 岸口 武寛
平成25年1月8日(火)	第40回 薬剤師研修会	小児アレルギー疾患の病態と薬剤 小児科医長 金谷 誠久

金川病院「健康教室」のご紹介

■ 金川病院庶務班長 大西 芳明

金川病院では、地域住民の方々の健康知識向上、当院職員との交流を目的に「健康教室」を行っています。講演後、全職種によるミニ健康相談会も行っていますので、お気軽にご参加ください。

(次回開催予定: 平成25年1月17日)



看護師募集

花と笑顔と語りかけの病院で
いっしょに働きませんか!

当院では今、常勤または非常勤の看護師を募集しています。
経験の有無にかかわらず、当院での勤務をお考えの方は下記あてにご連絡ください。

- 定員80名の保育所では、日曜・夜間保育だけでなく病児保育も実施
- 24時間いつでも利用できるスキルアップラボ、模擬ホスピタルなど充実の設備
- 専門職としてのキャリアアップを支援(専門看護師・認定看護師)



昼間だけなら働ける、看護師の仕事から少し遠ざかっていた…
まずは担当までお電話ください。
ご相談に応じます。

お問い合わせ

人事担当 秋田

TEL 086-294-9911

(内線8183)

〒701-1192 岡山市北区田益1711-1
国立病院機構岡山医療センター

編集後記

2012年(平成24年)もあと残り少なくなった。今年は、内外にもいろいろなことがあった。フランス、中国の首脳の交代、アメリカ大統領選挙。また、シリア内戦で日本人のジャーナリストの山本美香さんの殉職。国内では3.11後の原発事故からの復興やエネルギー問題。しかし、我が国で最も明るい話題は、京都大学の山中伸弥教授がiPS細胞でノーベル生理学医学賞を受賞したことだろう。日本人の自信と誇りを改めて感じたと思います。ちなみに、iPSは、人工多能性幹細胞、誘導多能性幹細胞(induced pluripotent stem cell)の略です。Apple社のiPodを愛用しておられた山中先生が世界的に普及してほしいとの願いを込めて命名されたとか。来年はもっとよい年でありますように!

(臼井)